

## 長野県生活交通確保維持改善計画に「諏訪湖周スワンバス (外回り線・内回り線)」を位置付けることについて

### 1. 現状と課題（総論）

- ・諏訪湖を周回するスワンバスについては、ジェイアールバス関東株式会社、諏訪交通株式会社の協力の下、現在、岡谷市・諏訪市・下諏訪町の2市1町共同で運行。
- ・スワンバスの沿線には、官公庁、金融機関、温泉・スポーツ施設等の公共施設に加え、各市町村の総合病院（岡谷市民病院、諏訪赤十字病院、諏訪共立病院）や商業施設があり、スワンバスを利用し、市民・町民が地域を越えた行き来をするとともに、諏訪圏内に訪れる観光客の観光・宿泊施設を往来する移動手段としても利用されているが、近年は新型コロナウイルス感染症の影響もあり減少傾向である。なお、令和4年度においてはやや回復傾向となっているが、感染拡大前の水準に戻るかは不透明な状況である。
- ・スワンバスの運行に当たっては、乗務員不足等により、令和元年12月に外回り線において、公共交通事業者間の業務移管が行われるなど、公共交通を取り巻く環境は厳しくなりつつある。
- ・また、スワンバスの運行経費の一部を毎年3市町において財政支援しているが、近年における急速な人口減少・少子高齢化に伴い、地方行政の財政状況も今後厳しくなることが懸念されている。
- ・このような中、持続可能な運営体制の構築、地域住民等の生活交通手段の確保維持を図るためには、3市町及び公共交通事業者が連携して利用促進に向けた取組を強化し運行収入を増加させることに加え、更なる財政的支援策も検討する必要がある。

#### <スワンバスにおける利用者の推移>

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
利用者数 (人)	89,116	85,250	85,620	84,206	83,159	85,182	58,646	61,581	64,842

### 2. 対応策

国土交通省及び長野県による補助制度「地域間幹線系統確保維持改善事業」（別紙参照）を引き続き活用することにより、当路線の維持を図ってまいりたい。

### 3. 協議事項

各運行事業者による「地域間幹線系統別確保維持計画（別紙）」を、県で策定する「長野県生活交通確保維持改善計画」に位置付け、地域間幹線系統補助対象路線として財政支援を受けてまいりたい。

（本路線は令和3年度から、県の地域間幹線系統確保維持計画に位置付けられた）